

益田市の社協だより

Vol.259

2021年5月号

# はあ〜てい

 この広報誌には、赤い羽根共同募金の配分金が使われています。

## 受賞おめでとうございます！

令和2年度 島根県老人クラブ連合会“活動賞大賞”



益田市老人クラブ連合会美都支部「合歓の会(ねむのかい)」の皆様（※ 記念写真撮影時のみマスクを外していただいています）

### 益田市社会福祉協議会

本 所 〒698-0036 益田市須子町3-1 TEL: 22-7256 FAX: 23-4177

美都支所 TEL: 52-2392 FAX: 52-2716 / 匹見支所 TEL: 56-0374 FAX: 56-0387

ねむ  
美都町の老人クラブ合歓の会が、  
令和2年度 島根県老人クラブ連合会「活動賞大賞」を受賞されました！



活動賞大賞受賞式（松江）の様子  
右：草野幸子会長

合歓の会の活動は多岐にわたり、地域の子どもたちとの交流や登校時の見守り、191号線のごみ拾いや研修会開催等、様々なボランティア活動に取り組まれています。

42名の会員の誕生日には、プレゼントを持って自宅を訪問し困りごとを聞くなど、会員さんのこととても大切にしておられます。2月のある日、草野幸子会長が83歳を迎えられた田中節美さんのお宅を訪問するとのことで、生活支援コーディネーターが同行させていただきました。草野会長が「お誕生日おめでとうございます。」とプレゼントを渡すと、「ありがとう、ありがとう。」と素敵な笑顔を見せてくださいました。

合歓の会の活動が地域にたくさんの笑顔を咲かせています。これからもますます元気で活躍されますよう、応援しています。

（美都圏域生活支援コーディネーター：田村）



東仙道保育園との交流（わらび採り）



マスク不足の時期に、手作りマスクと不織布マスクを袋詰めして配布されました



田中節美さん（83）のお宅を訪問

匹見“わさび”でつながる

3月17日、社協配食サービスお弁当の献立に、匹見中学校わさび収穫祭のコンテストで選ばれたわさびレシピを活用して、湊川晴香さんの「きのこのバターしょうゆスパゲティーわさび添え」と大谷奏真さんの「なすとおくらの揚げ浸し」を取り入れました。

中学生が考案したアイデア満点メニューに感心しながら、調理ボランティアが丁寧に仕上げた美味しいわさび弁当は、配達民生児童委員により町内の高齢者18名に、地域貢献の想いととも手渡されました。

匹見地域では、保育所から小・中学校までわさび学習を行います。地元農家と一緒に植え付けからわさび谷の清掃・収穫まで体験することで達成感が培われ、コミュニケーション力を育みます。

これからも地域が繋がりがあって、子どもたちの成長を「つろうて子育て」していきます。

（匹見支所：西川）



# ますだボランティア情報 No.50



コロナ禍の中での災害を想定し、受付でもマスク・フェイスガードをつけ、ついでに検温をしている様子です。

## 益田市災害ボランティアセンター 設置・運営訓練を行いました



災害を想定した訓練を行い、当日の流れを職員の中で共有します。



訓練後は振り返りを行い、反省点を次の訓練に活かしていきます。

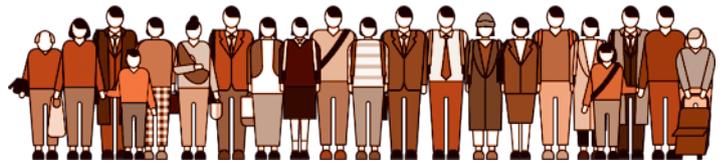
令和3年2月27日(土)、益田市総合福祉センターにて「令和2年度 益田市災害ボランティアセンター設置・運営訓練」を行いました。

災害ボランティアセンターとは、大雨や地震などによる大規模災害が起こった際に、被災地の住民の生活復興を支援するために設置されるもので、被災状況や住民の要望を把握し、被災地支援を希望するボランティアさんたちをまとめ、適切な配置を行うことにより、被災地でのボランティア活動を円滑に進めることができます。

また、今回の訓練は、新型コロナウイルス感染症対策も取り入れて実施しましたが、ボランティア希望者が多数来られた際に人と人の距離をどう適切に保つのかや、検温や消毒のタイミング等、事前に想定していても、難しさを感じる課題もいくつか上がっていました。

益田市社会福祉協議会では、今後もこうした訓練を通じて、益田市において大規模災害などが発生した際には、迅速かつ適切な支援を行えるよう、体制を整備してまいります。

# 事業計画・予算 そして共によし』



## ■ 令和3年度予算

収入科目	予算額 (単位：千円)
会費収入	14,820
寄附金収入	5,466
経常経費補助金収入	97,995
受託金収入	340,916
貸付事業収入	1,800
事業収入	9,620
負担金収入	244
介護保険事業収入	557,540
保育事業収入	316
障害者福祉サービス等事業収入	3,399
受取利息配当金収入	13
その他の収入	19,727
積立資産取崩収入	70,000
拠点区分間繰入金収入	54,682
サービス区分間繰入金収入	41,383
その他の活動による収入	48,759
前期末支払資金残高	128,254
<b>収入合計</b>	<b>1,394,934</b>

支出科目	予算額 (単位：千円)
人件費支出	755,966
事業費支出	254,451
事務費支出	69,998
貸付事業支出	1,800
共同募金配分金事業費	13,925
助成金支出	15,620
負担金支出	848
その他の支出	152
固定資産取得支出	727
ファイナンス・リース債務の返済支出	6,733
基金積立資産支出	430
積立資産支出	70,000
拠点区分間繰入金支出	54,682
サービス区分間繰入金支出	41,383
その他の活動による支出	24,818
予備費支出	400
当期末支払資産残高	83,001
<b>支出合計</b>	<b>1,394,934</b>



支え合いマップづくり



社会福祉法人連絡会研修会



福祉公開講座

### ＜お詫び＞

「社協だより はあ〜てい」2021年3月号に掲載しました次の記事におきまして、誤りがありました。

■ 2ページ 赤い羽根共同募金へのご協力ありがとうございました。

ページ上部：一般募金額下の年月日 (正)令和3年1月22日現在 (誤)令和2年1月22日現在  
お詫びするとともに、ここに訂正させていただきます。

## 令和3年度

益田市社会福祉協議会キャッチフレーズ

## 『助けてよし、助けられてよし、

## ■ 基本方針

益田市社会福祉協議会では、これまで社会参加と地域住民による支え合いの仕組みづくり、地域住民同士のつながりづくりを推進してきました。コロナ禍の収束が見通せない現下の厳しい社会情勢にあっても、地域福祉を推進する中核的な団体として、地域の多様な組織・関係者をつなぎ、地域生活課題の解決に向けた支援を創造する「連携・協働の場」となるよう、社会福祉協議会の使命でもある、誰もが支え合いながら安心して暮らすことのできる「ともに生きる豊かな地域社会」づくりを、地域住民や福祉組織・関係者とともに歩みを進めていきます。

本年度も「第3期益田市地域福祉計画・地域福祉活動計画」の基本理念である『みんなで支えあい、助けあう福祉のまちづくり』の実現を目指して、本会キャッチフレーズ『助けてよし、助けられてよし、そして共によし』のもと、役職員が一丸となり、本会の持つ総合力とネットワーク力を生かしながら、各事業の適正な管理運営と組織の基盤強化に取り組みます。

## ■ 重点事項・主な実施事業

新 新事業

## ① 益田市地域福祉計画・地域福祉活動計画に基づいた地域福祉の推進

- 第3期益田市地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進
- 益田市生活支援体制整備事業の推進〔市受託事業〕
- 新 支え合い推進員体制の整備
- ふれあいのまちづくり事業
- 地域福祉活動助成事業
- 地区社会福祉協議会との連携強化と活動支援
- 関係福祉団体との連携強化と活動支援
- 福祉バス運行事業
- ふれあい・いきいきサロン事業
- ふれあい・子育てサロン事業
- 食を通じた地域の居場所づくりの推進
- 福祉啓発・広報活動の充実強化
- 災害発生に備えた被災者支援活動の推進
- ボランティア・市民活動の振興と福祉教育の推進
- 益田市ボランティアセンターの運営
- 島根県共同募金会益田市共同募金委員会の運営と共同募金運動の推進
- 日本赤十字社島根県支部益田市地区の運営と事業推進
- 地域包括ケアシステム体制の構築
- 益田市社会福祉大会の開催
- 新 益田市戦没者合同追悼式の開催
- 新 益田市社会福祉協議会設立70周年記念事業の協議検討・準備
- 友愛メール事業による見守り活動（美都）
- 美都地域子育てサロンの開設（美都）
- 安心♡お買い物宅配サービス「匹見らくらく便」事業・「らくらくサロン」の開設（匹見）
- もみじの里地域交流ホールでの「もみじサロン」の開設（匹見）
- 匹見福祉委員会との共催による「町民チャリティー発表会」の開催（匹見）

## ② 関係機関・団体等との連携・協働による総合的な総合支援体制の拡充

- あんしん生活支援センターによる包括的支援体制の充実・強化
- 総合相談事業
- 生活困窮者自立相談支援事業〔市受託事業〕
- 福祉資金貸付事業
- 入居債務保証支援事業
- フードバンク事業
- 日常生活自立支援事業〔県社協受託事業〕
- 法人後見事業
- 市民後見推進事業〔市受託事業〕

## ③ 指定管理事業・介護サービス事業等の適正な管理経営

- 指定管理事業  
（益田市総合福祉センター、匹見保育所、美都・匹見地域高齢者福祉施設の管理運営）
- 在宅・施設福祉サービス事業

## ④ 社会福祉法人等との連携・協働による地域公益活動の推進

- 益田市社会福祉法人連絡会の運営
- 会員法人経営の施設・事業所に設置した相談窓口「ふくし なんでも 窓口」の機能充実

## ⑤ 本会の発展に向けた経営基盤の強化

- 組織統治体制の確立と機能強化
- 職員の人材確保・育成・定着の推進
- 持続可能な安定した財源確保と健全な財政運営

令和3年度 益田市総合福祉センター講座のご案内

総合福祉センターでは、明るく豊かな日々を過ごしてもらうため、下記の講座を開催いたします。是非ご参加ください。受講対象者は、60才以上及び母子・寡婦・父子の方です。

講座名	社交ダンス教室 (初心者・中級者)	囲碁教室	習字教室	手編教室	園芸教室 (寄せ植え)	いきいき健康教室 (筋肉トレーニング)
期間	5/14~3/11	6/10~11/11	5/20~3/17	5/8~3/12	5/21~3/18	5/21~3/4
期日	毎月第2金曜日 (8月第1金曜日)	毎月第2、4木曜日	毎月第3木曜日	毎月第2土曜日 (8月第1土曜日)	毎月第3金曜日	毎月第1金曜日 (初回第3金曜日)
時間	13:30~15:30	9:30~11:30	13:30~15:30	10:00~12:00	13:30~15:30	10:00~11:00
回数	11回	11回	11回	11回	11回	11回
講師	増野栄一	田原俊平	梅津政子	中田登志枝	渡辺恭典	美原愛子
集人数	40名程度	20名程度	20名程度	20名程度	20名程度	15名程度
受講料	無料	無料	無料 (但し、実費必要)	無料 (但し、実費必要)	無料 (但し、実費必要)	無料
内容 その他	・初心者の方大歓迎 ・毎月第4金曜日は 自主的に実施 ・ハイヒール等の靴 は使用禁止です	・初心者の方大歓迎	・習字用具等は各自 でご持参下さい	・初心者の方大歓迎 ・編み棒、かぎ針は 各自でご持参下さい	・材料代等は各自で ご負担して下さい	・膝、腰、股関節等 痛みのある方、足 腰に自信のない方 大歓迎 ・運動のできる服装 でご参加下さい
開催日程 (予定)	5/14・6/11・7/9 8/6・9/10・ 10/8・11/12・ 12/10・1/14・ 2/11・3/11	6/10・6/24・7/8 7/22・8/12・ 8/26・9/9・9/23 10/14・10/28 11/11	5/20・6/17・7/15 8/19・9/16・ 10/21・11/18・ 12/16・1/20・ 2/17・3/17	5/8・6/12・7/10 8/7・9/11・10/9 11/13・12/11 1/8・2/12・3/12	5/21・6/18・7/16 8/20・9/17・ 10/15・11/19・ 12/17・1/21・ 2/18・3/18	5/21・6/4・7/2 8/6・9/3・10/1 11/5・12/3・1/7 2/4・3/4
会場	大集会室	研修室	大集会室	会議室B	ふれあい広場	大集会室
益田市総合福祉センター						

- ※ 期日や会場は、変更する場合があります。
- ※ 申し込みは、令和3年5月6日(木)より電話でのみ受付をします。総合福祉センター(TEL 22-7256・23-4177)までお願い致します。また、定員になりしだい締め切らせていただきます。詳しいことは、益田市社会福祉協議会(総合福祉センター)へお問い合わせください。令和3年5月5日以前の受付、及び土・日曜日の受付は行いませんのでご了承ください。
- ※ 当講座内での物品の販売、及びセンター講座以外への勧誘行為は禁止します。そのような行為を発見・確認しましたら当講座を辞めていただく場合もありますのでご了承ください。

訪問入浴車を寄贈いただきました!



この度、24時間テレビチャリティーを通じ、訪問入浴車をご寄贈いただきました。

市内では、益田市社会福祉協議会が唯一訪問入浴事業を行っていますが、車両が老朽化しており、今回の新しい訪問入浴車の寄贈は介護事業課の念願が叶った形で、職員一同喜んでおります。

訪問入浴事業は、これまでは高齢者のみが対象でしたが、令和2年度からは新たに市からの委託を受け、障がい者の方へのサービスも行っております。詳細につきましては、益田市社会福祉協議会 0856-22-7256 までお問い合わせください。

益田市美都地域包括支援センター は 4月1日 から  
益田市社会福祉協議会美都支所内 に移転しました。

(〒698-0203 益田市美都町都茂1803-1 益田市美都総合支所内) TEL. 52-3335

※ 電話番号には変更ありません



～そのままにしている 心配ごとはありませんか～



公証人による

# 無料相談会

要予約

相談担当: 浜田公証役場 瀧村 剛(たきむらつよし) 公証人

**日時** 6月4日(金) 10:00～16:00

**場所** 益田市総合福祉センター(益田市須子町3-1)

**問合せ先** 益田市社会福祉協議会

TEL:(0856)22-7256 / FAX:(0856)23-4177

※ 先着順となりますので、事前にご予約ください

公証役場は国の機関です。秘密は厳守されます。

## —自分らしく生きるために—

令和3年度は、市民後見人養成講座・成年後見制度啓発講演会・福祉公開講座を開催します。自分らしく生きるためには何が必要なのかをこの機会に学んでみませんか？

詳しい内容や日程につきましては、決まり次第、社協のホームページや告知端末放送などでお知らせをいたしますので楽しみに！



あんしん生活支援センター

## ふれあい福祉相談のご案内

5・6・7月

相談	開催日	時間
無料法律相談	5月14日(金)・6月11日(金)・7月9日(金)	13:00～15:00
ふれあい福祉相談	5月14日(金)・6月11日(金)・7月9日(金)	10:00～15:00
老人ひとり親相談	5月14日・28日・6月11日・25日・7月9日(金)	10:00～15:00

どんなことでも、まずはご相談ください。いっしょに考え、解決へのお手伝いをいたします。



お問合せ  
ご予約

あんしん生活支援センター(益田市社会福祉協議会)

フリーダイヤル：0120-062-301 / TEL：22-7256 / FAX：23-4177 (月～金 8:30～17:30)

## 善意の輪

(令和3年1月1日～令和3年2月28日) 敬称略

ご寄附ありがとうございます。地域福祉活動事業費や、福祉基金積立の原資として、大切に活用させていただきます。

【香典返し】	【香典返し】	【香典返し】
(故) 岡崎 初女 小浜町 金一封	奥田 洋介 久城町 金一封	(故) 高橋 和則 美都町都茂 金一封
(故) 三輪 文子 中島町 金一封	中島 明 安富町 金一封	澄川 晋二 美都町山本 金一封
石橋 英人 安富町 金一封	(故) 石橋喜美恵 虫追町 金一封	(故) 村上 美晴 美都町都茂 金一封
細田 勉 西平原町 金一封	(故) 松本タケ子 神田町 金一封	(故) 山本 栄子 匹見町匹見 金一封
(故) 廣瀬サツ子 金一封		



## 令和3年11月の福祉バス利用抽選会日は8月10日(火)午前10時～です

詳細ははあ～てい8月号にも掲載します。秋の研修等に社協バスをぜひご利用ください。詳細は益田市社会福祉協議会 TEL 0856-22-7256までお問い合わせください。



## 町の賑わいと働く場所を創造する小さなブルワリー (高津地区)

高津川沿いの築160年の古民家でクラフトビールを製造されている「高津川リバービア」へ取材に行ってきました。

代表取締役の上床絵理さんは福岡県出身で、関係人口として益田市に関わっていくうちに瑞々しいフルーツやきれいな水に惹かれ、益田市に移住して来られました。

益田市に移住して来られた理由を伺うと、「人が良いんです。」その地域にしかない人たちと関わりを持ち、定年後も働ける出会いの場を作っていきたいとニコニコと話してくれました。

商品開発にも意欲的で、「地域の特産品を使った商品を開発していきたい」と話され、匹見の特産品を使った商品も検討しておられるとのことでした。

土・日曜日はクラフトビールをテイクアウトして、川面がキラキラ光る高津川沿いを歩いて欲しいと話すと上床さんの笑顔もキラキラしていました。

(西部圏域生活支援コーディネーター：鍛冶畑)



### \* 高津川リバービア株式会社 \*

住 所：益田市高津2丁目1番18号  
電話番号：(0856) 32-9641  
定休日：月・火曜日

### 元気なサロン情報

## ひまわりグループ (鎌手地区)



2月25日(木)、鎌手で元気に活動されているサロン「ひまわりグループ」を見学させていただきました。

この「ひまわりグループ」は平成10年度に設立された、益田市内の中でも最古参のサロンになります。この日は今年の干支にちなんで、牛の置物を作られていました。皆さん和気あいあいとお喋りしながら手元を動かしていきます。「サロンを始めた頃は鎌手駅の駅舎を借りて活動をしていた。」「羽子板を作ったこともあったよね。」等色々なお話をしながら、終始笑いの絶えない楽しいひとときを過ごしておられました。

ただそこにいるだけで心地よくなる空気は「ひまわりグループ」の皆さんが自然体で、無理をせずに活動を楽しんでいるからのように思います。そしてそれこそが活動が20年以上続いている理由なのかもしれません。これからも末永く活動が続いていくよう、社協も応援していきます。

(東部圏域生活支援コーディネーター：河上)

